

パノラマ問題の提案は性急過ぎないか

財政の健全化のためには 一刻の猶予もない問題です



名取 武一 議員

質問：開発公社は今までに金融機関からいくら借り、元金・利子含めていくら返済しているか。

答弁：77億円を借りています。平成20年度末までに110億円返済し、町と合わせて現在32億円の借金が残っています。

質問：町は今までパノラマ問題にいくら投資し、いくら還元されているか。

答弁：35億円投資して、返済されたのは3億4,300万円です。

質問：債権者（銀行等）に10億円返済するとして

いるが、残りの債権放棄とセットで交渉するべきではないか。

答弁：銀行を利用するものは一切ありません。今回予定している10億円は、町が損失補償している優良債権を優先に返したいと考えています。

質問：入笠山を「お花畑」にすることは、環境破壊につながるか。

答弁：日本各地で成功例があります。環境に十分配慮したいと考えています。

質問：パノラマ問題の提案は性急過ぎないか。

答弁：毎年投入している3億がさらに悪化する可能性があります。財政の健全化のためには一刻の猶予もない問題です。

□その他の質問

*来年度予算について



「観光農園」構想について、 具体的計画案を

夢のある構想として

研究中です



小林 市子 議員

質問：「観光農園」構想の具体的計画案は。

答弁：富士見の大きな資源は、広大な土地と素晴らしい自然です。これをどう生かすかが富士見町再生の鍵になると考えます。

観光と農業を結びつけて、収益と雇用が維持できるといふ方法を追求したい。その一例が塚平で

す。4万坪の土地を富士見の特産品の栽培、直売加工に利用したい。さらに子ども広場なども取り入れた夢のある構想です。

質問：塚平に集中して観光農園を始めるとしたら、前からブルーベリーなどを育ててきた農家の意欲をそぐことにならないか。

答弁：皆さんとの合意形成が必要だと思います。新たな産業が富士見に根付いて税金も払える、町も豊かになるという目的と、皆さんが一生懸命やられてきた活動は、両立できる方向で検討したいと思えます。

□その他の質問

*住民懇談会で出された問題や課題について

*IT企業の誘致について
*町の公有財産について